

事務事業評価表（平成26年度）

事業コード	2065	課コード	0506	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 障害者福祉センター事業	実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害者福祉センター					
	③事業主体	個別事業 手話講習会・読書講習会	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市								
	⑤事業期間	平成26年度～平成29年度		⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.1人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,290千円 (うち人件費 930千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33304	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 健康福祉総合計画	
(2) 目的	施策目的・展開方向	障害の有無にかかわらず地域で共に暮らせる社会を実現するため、イベントや講座を開催して障害についての正しい知識を広げるとともに、障害者の地域活動への参加を支援するなど、地域と交流しながら啓発活動を行います。			事業目的	中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、手話や読書によるコミュニケーションの獲得や仲間づくりを支援します。						
(3) 事業内容	内容	中途失聴者・難聴者の方やご家族を対象に、障害者福祉センターで手話講習会(平成26年度)と読書講習会(平成27年度)を開催します。			当該年度執行計画	中途失聴者・難聴者の方とご家族を対象に障害者福祉センターで手話講習会を開催します。 (1)開催期間:平成26年8月から12月までの隔週木曜(全10回) (2)開催時間:2時間 (3)講習内容:入門レベル(初心者対象) (4)費用:無料(ただし、テキスト代は実費負担) (5)情報保障:要約筆記者を配置						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	人	想定値	20	
当該(開始)年度	手話によるコミュニケーションの指導や仲間づくりを通じて、中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減することができる。	直接	講座参加者数		人	0		0		20		
3年後	読書によるコミュニケーションの指導や仲間づくりを通じて、中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減することができる。	直接	講座参加者数		人	0		0		20		
最終(概ね5年後)		-				0		0		0		
(7) 事業実施上の課題と対応	講座終了後、参加者が民間で開催している手話の自主サークルへ移行できるよう、自主サークルの運営者と連携する。	代替案検討	○有 <input checked="" type="checkbox"/> 無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容
(9) 財源内訳	予算(済)額	合計		0		合計		200		合計		0
	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	0	
	一般財源			0			360			200	0	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0
(10) 人件費等	換算人数(人)	0		0.1		0.1		0.1		0.1		
	正職員人件費	0		930		930		930		930		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		0		
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	0		1,290		1,130		1,130		930		
(11) 単位費用	(事業費/活動結果指標)	0千円/**		64.5千円/人								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
	中途失聴者・難聴者は、生活上、自らのコミュニケーション手段として手話や読書を取得する必要がある。また、中途障害であるために精神的なショックから社会的に孤立してしまうことが多いため、同僚者との交流の場を提供する必要がある。手話講座と読書講座の開催については、特定非営利活動法人千葉県中途失聴者・難聴者協会から毎年要望書が提出されている。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービスの水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>				○要 ○不要		
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) <input checked="" type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他									
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容		
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>			千葉県中途失聴者・難聴者協会我孫子支部と協議の上、事業を計画した。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点			実施した具体的な内容				環境への配慮		
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容> 該当なし							○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	0	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(人)		達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
			実施予定の対策		実績値(g)(千円)		対事業費(%) (g/c)×100		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実績値(g)(千円)		対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託						<超過理由等>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			
	1.55		単位	費用単位	実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------